

浜松市障がい者自立支援協議会調整会議会議録

1 開催日時 令和元年11月15日(金) 午前2時から午後3時20分

2 開催場所 浜松市役所 北館1階101、102会議室

3 出席状況

区自立支援連絡会名	所属	出席者氏名
中区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所アグネス	本宮 早奈映
	中区社会福祉課	飯塚 康敬
東区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所だんだん	平野 明臣
	東区社会福祉課	濱埜 剛
西区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 まど	鈴木 宏幸
	西区社会福祉課	安間 俊弘
南区自立支援連絡会	障がい者相談支援センター 浜松南	後藤 翔一朗
	南区社会福祉課	内藤 淳
北区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 信生	小楠 絢子
	北区社会福祉課	梶田 和彦
浜北区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 ぼるた	間木 義聡
	浜北区社会福祉課	金原 真弓
天竜区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 てんりゅう	今田 将晴
	天竜区社会福祉課	内山 敦子
オブザーバー	障がい者相談支援事業所 シグナル	尾関 ゆかり
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛
	課長補佐	久保田 尚宏
	生活支援第2グループ長	柴田 多美子
	生活支援第2グループ	山内 愛美

4 議事内容

- (1) 専門部会報告
- (2) 市協議会新体制案報告
- (3) その他

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活支援第2グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) 専門部会報告

資料1を元に説明

- ・退院して地域で暮らそう部会
担当G長緊急対応のため、資料のみ配布
- ・重心児・者及び医療的ケア専門部会
担当より資料を元に10月30日第2回専門部会について説明
- ・こども専門部会
担当と基幹相談支援センターより資料を元に「障がい児を支援する相談員研修会」アンケート結果報告

(2) 市協議会新体制報告

資料2を元に説明

<市全体会>

- ・基幹相談支援センターと障害保健福祉課が事務局となる。区社会福祉課にも状況を把握してもらうことを目的として参加してもらう。
- ・障害保健福祉課で構成員の調整を始めている。各団体や連絡会から代表者を推薦してもらう形で考えている。
- ・エリアの活動を報告する場としていきたい。

<市専門部会>

- ・「相談支援部会」「権利擁護部会」「地域生活部会」の3つを大枠で設置する。
- ・「相談支援部会」は相談支援事業所の評価の仕組み作り、「権利擁護部会」は、虐待や差別について、「地域生活部会」はそれ以外の課題について検討をする。
- ・重心部会は協議会化される予定。こども部会は「地域生活部会」の中で「こどもワーキング」の位置付けとする予定。退院して地域で暮らそう部会に関しては調整中。
- ・基幹相談と障害保健福祉課は、それぞれの部会の進捗状況等の取りまとめをする。

<エリア連絡会>

- ・個別支援会議での事例の積み重ねから課題を提出し「できること持ち寄りシート」により企画会議へ提案してもらう。

<エリア専門部会>

- ・地域の実情に合わせて設置。
- ・ネットワーク作りを目的とした部会設置も可能。市専門部会とつながる部会は設置してもらいたい。

<エリア全体会>

- ・事務局は委託相談と区社会福祉課。構成員は委託相談だけでなく、計画相談にも参加してもらう。市とエリアのつながりを作るため、障害保健福祉課も出席するようにする。

<意見>

- ・現在、各区では特別支援学校にも参加してもらっているが、市全体会の構成員にはならないのか。
⇒(事務局)出席について依頼をする方向で検討したい。
- ・エリア全体会の開催回数と構成員の人数の目安は。
⇒(事務局)エリア全体会は年に2~3回の開催、構成員の人数は実情に合わ

せて検討してもらえればよいが、協議ができる人数でお願いしたい。

- ・会則変更についての対応はどうすれば良いか。現状の体制を一旦解散してゼロベースで考えれば良いのか。
⇒（事務局）要綱を改正するため見直しをしてもらいたい。2つの区が一緒になるエリアに関してはゼロベースで作直す形になるのではないか。
- ・部会が決まった経緯を知りたい。また課題解決型でスケジュールを決めて活動をするとのことだが、長期で対応しなくてはいけない案件もあるのではないか。
⇒（事務局）部会は相談支援事業所の評価をする場、虐待の話し合いをする場が無かったことから設置となった。部会は3つだが、1つの部会の中でいくつかワーキンググループができることも想定している。長期で対応する案件に関してはある程度の目途を決めて活動をしてもらうようにする。部会については、今までの調整会議でも報告をしてきており、議事録も提供している。
- ・退院して地域で暮らそう部会は、今後も継続してもらいたい。
- ・市全体会から施策協への報告・提言への流れはどのようなものか。
⇒（事務局）エリアから「できること持ち寄りシート」により上がってきた課題を企画会議、専門部会等で検討し、施策に向けての根拠や制度体制などを具体的に示せる段階で報告をしていく。
- ・エリアが「地域生活支援拠点等の体験利用支援加算及び地域体制強化協働支援加算」の様式を利用して課題提案をするのはどうか。
⇒（事務局）基幹相談とも「地域生活支援拠点等の体験利用支援加算及び地域体制強化協働支援加算」の活用については検討しており、様式の提出方法など、現在調整中。

（3）その他

- ・各区より活動状況、来年度に向けての調整について報告

◆中区

- ・スマイルフェスタ参加、事例検討会、当事者を囲んでのグループワーク、研修等の活動を行っている。高齢者分野との合同研修も計画中。
- ・事業所が多いため、事例検討会等で色々な事業所を巻き込むような活動をしている。
- ・来年度の体制については、これから検討していく。

◆東区

- ・中区と同じく多くの事業所を巻き込むために事例検討会を開催している。
- ・当事者を含めて障がい児講演会や研修を行っている。

◆西区

- ・来年度の体制について委託事業所同士は話をしているが、区担当者間はまだ話ができている状況

◆南区

- ・区全体会の縮小版である運営会議を開催したところ、委託再編について「浜松南やアグネスがなくなってしまう」との意見が上がり、収集がつかなかった。そのため、全体会でどのような状況になるのか想像がつかない状況。

◆北区

- ・今年度から各部会がスタートしている。施設見学など研修会などを開始している。
- ・来年度の体制についてはこれから検討していく。

◆浜北区

- ・地域課題の部会にて毎月ケース検討を行っている。
- ・来年度の体制については、浜北区と天竜区で打合せは済んでおり、今後、委託事業所同士の話し合いも予定されている。

◆天竜区

- ・地区部会が4つあり、活動をしている。
- ・天竜区版のこども支援マップ、学校用の出前講座チラシを作成した。

- ・基幹相談より1月24日開催の強度行動障害フォローアップ研修について情報提供

<意見>

- ・各区の活動内容を共有する場は必要ではないか。

<連絡事項>

- ・次回調整会議は、1月17日14時から。